



日本バイ・デジタルオーリングテスト 医学会ニュース

No.21 2006 年 9 月 23 日発行

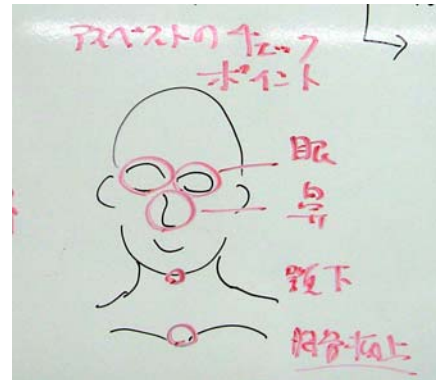
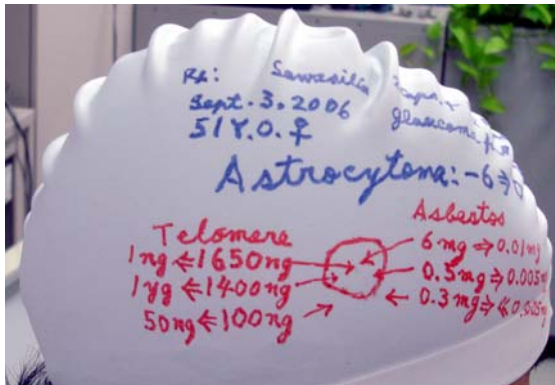
〒830-0032 福岡県久留米市東町 496

TEL:0942(38)4181 FAX : 0942(37)4131 e-mail : info@bdort.net

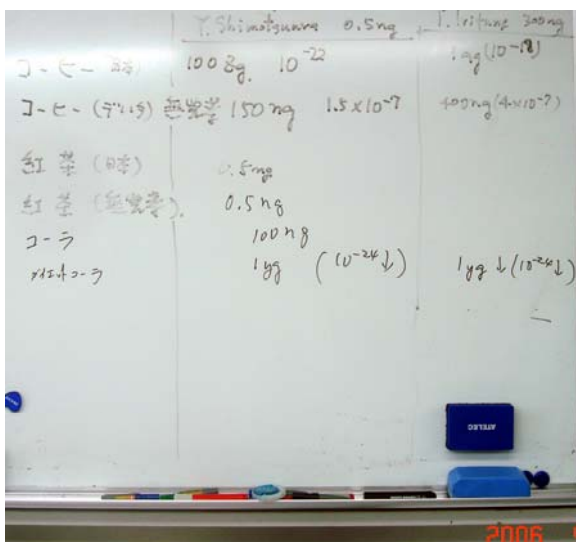
URL : <http://bdort.net>

◎ 2006 年 9 月久留米セミナー及び第 7 回国際シンポジウム報告

2006 年 9 月 2 日～3 日、福岡県久留米市の ORT 生命科学研究所にて、オーリングテストセミナーが開催され、9 月 3 日～4 日で認定試験が行われました。また、9 月 8 日(金)～10 日(日)に東京大学山上会館において、第 7 回国際シンポジウムが開催されました。国際シンポジウムには、海外からの先生達を含めて 125 名の参加者がありました。東京での市民公開講座には、118 名の参加者がありました。



Astrocytoma の反応する部分にアスベストが蓄積している アスベストの 4 箇所のチェックポイント



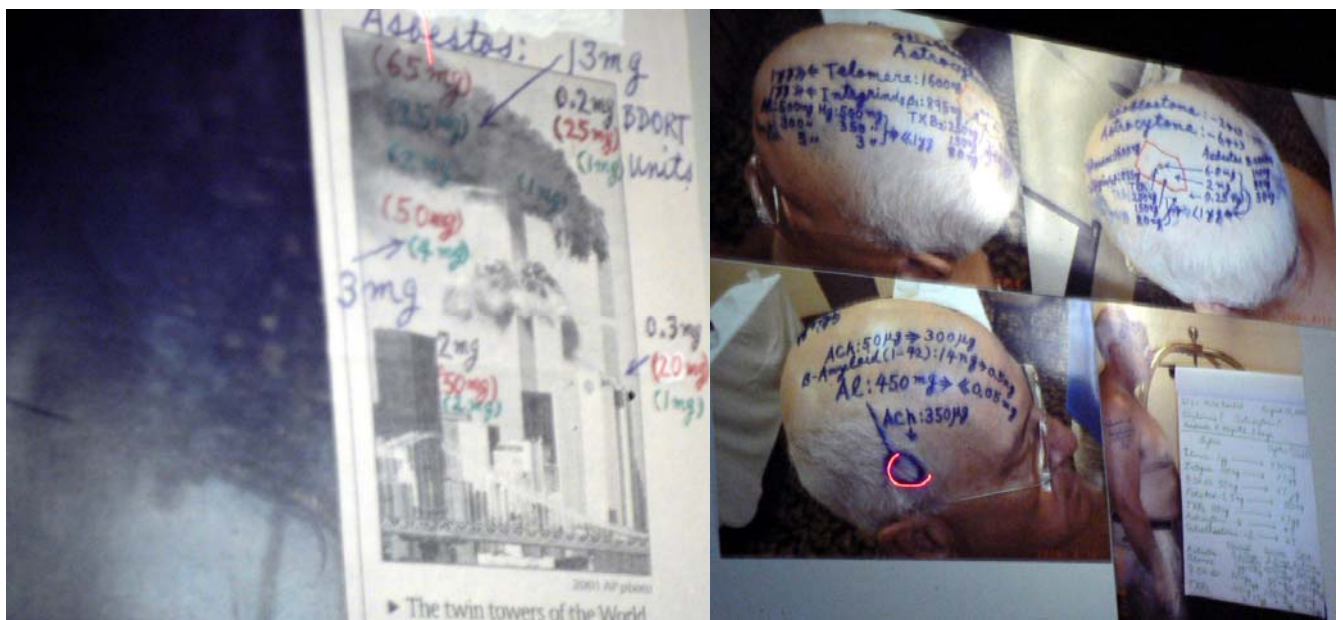
Virtual Drug Effect Test でのテロメアの変化



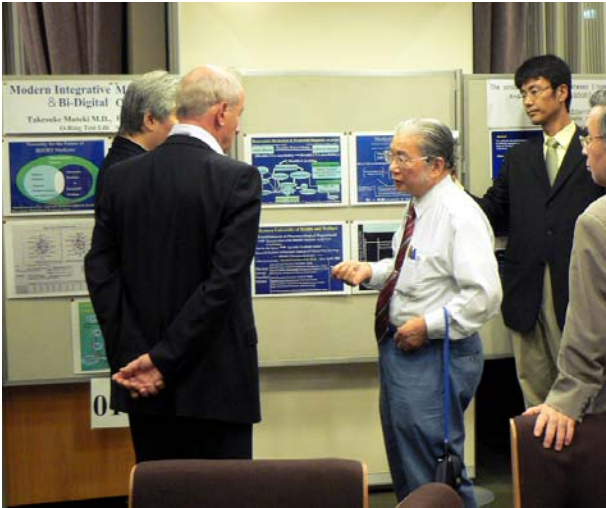
久留米セミナーに参加された先生達



第7回国際シンポジウムに参加された海外講演者と国内の先生達



大村恵昭先生によるアスベストについての講演



ノーベルの子孫と語られる大村恵昭先生

西原克成先生と海外からの講演者の先生達

海外からはウクライナから Victor P. Lysenyuk 先生、U.S.A.からは Avraham Henoch 先生、ペンシルバニア大学教授の Dominic P. Lu 先生、Modern Micro Dental Occlusal Adjustment RFV (Resultant Force Vector) Technique 創始者の Daniel Goal 先生、イスタンブール大学健康科学科主任教授の Kemal Nuri Ozerkan 先生、ブラジルからは岩佐スミエ先生と Suko Emy Viviane 先生の7名が参加され、国内では西原克成先生が「免疫病の主要原因、細胞内感染による糸粒体の荒廃と BDORT による共鳴現象について」という特別講演をされました。

また、「現代の医療の体制と BDORT 医学の将来性」というシンポジウムで前田華郎先生、加藤紘一先生、出口一樹先生、下津浦康裕先生、岡宗由先生の発表とディスカッションがありました。通訳をつけない、初めての国際シンポジウムでしたが、実りのある会でした。

2006年11月4日（土）から7日（火）に、ニューヨークのコロンビア大学で第22回国際鍼・電気治療学会が開催されます。バイ・ディジタルオーリングテストの発表も多数あります。参加すると認定試験及び昇段試験を受けるのに必要な受講時間の40時間が加算されます。奮って御参加下さい。

以下に大村恵昭先生の今回の学会発表の要点を記載します。

● ○●学会発表レポート●○○

オーリングテスト創始者大村恵昭教授のニューヨークにおける最近の研究について
**Recent Research of Prof. Yoshiaki Omura, M.D., Sc.D.,
the founder of Bi-Digital O-Ring Test, in New York**

「アスベストの悪性肺腫瘍（肺小細胞癌、肺腺癌、中皮腫を含む）、脳腫瘍（星膠腫(Astrocytoma)と膠芽腫(Glioblastoma))及びその他の悪性腫瘍、繊維筋腫を含む難治性疼痛、心臓血管病、アルツハイマー病、自閉症、その他の難治性疾患に於ける役割：正常及び病的組織から安全で効果的にアスベストを取り除く方法」：Updated Sept. 2006

**Asbestos As a Possible Major Cause of Malignant Lung Tumors
(Including Small Cell Carcinoma, Adenocarcinoma & Mesothelioma),
Brain Tumors (i.e. Astrocytoma & Glioblastoma Multiforme), Many
Other Malignant Tumors, Intractable Pain Including Fibromyargia, &
Some Cardio-Vascular Pathology: Safe & Effective Methods of Reducing Asbestos From
Normal & Pathological Areas** :Updated Sept. 2006

Director of Medical Research, Heart Disease Research Foundation;
President, Int'l College of Acupuncture & Electro-Therapeutics;
President, Japan Bi-Digital O-Ring Test Medical Society;
Adjunct Prof., Dept of Community & Preventive Medicine, New York Medical College;
Prof, Dept of Non-Orthodox Medicine, Ukrainian National Kiev Medical University
(Correspondence: 800 Riverside Dr (8-1), New York, NY 10032, USA. Tel:(212) 781-6262;Fax:(212) 923-2279)

今まで、アスベストによって発生するいくつかの病気の中で Asbestos によって胸膜、Pericardium(心膜)や腹膜に出来る Mesothelioma（中皮腫）という悪性の腫瘍が、病名だけは一番知られていますが、それに関する医学的知識は医者の間でも非常に限られています。その他に、アスベストを大量に肺へ吸い込むと、癌もできやすい。特にタバコをたくさん吸っている人は、癌および Mesothelioma になる確率が高くなります。Mesothelioma には、3つの種類があって、Epithelioid type Mesothelioma, Sarcomatoid type Mesothelioma, Mixed type Mesothelioma の3種類があります。

最近、我々が発見したことですが、特に目と鼻に大量のアスベストが蓄積していると、脳腫瘍になる可能性が非常に高いということを見つけました。これより、アスベストの量が 2mg (BDORT Unit)以上の場合、脳腫瘍の Astrocytoma か又は特に悪性度の高い Glioblastoma Multiforme のある可能性をチェックする事が必要になりました。

又、アスベストが体内に蓄積している所では、いろいろな種類の病気に関係しているということもわかってきました。

心臓の Failing Heart（心不全）とか、Myocardial infarction（心筋梗塞）とか、心臓の血管がつまった場所では、アスベストが異常に増えている。

そのため、アスベストを調べることによって、簡単にいろんな病気のスクリーニングをする事も可能になりました。

アスベストは、頭のはげた人の頭にも比較的大量にたまっている人が多い。そういう人で目と鼻に大量のアスベストが蓄積している場合は、脳腫瘍である Astrocytoma や Glioblastoma Multiforme になる可能性が非常に高い。

Glioblastoma Multiforme で亡くなった人の MRI の写真を調べると、目と鼻及び脳腫瘍の Core に大量のアスベストが蓄積しています。

アスベストが多い所には、必ず循環障害があって、Thromboxane B2が高くなっています。鼻に2～6mgの大量のアスベストが蓄積している人では、脳には Astrocytoma や Glioblastoma がある可能性が非常に高くなります。このアスベストを取り除くと、脳腫瘍の反応がなく

なります。これは、脳腫瘍がなくなるわけではなくて、脳腫瘍が活動している時に出てくる癌の反応が一時的に停止状態になってしまうからです。ところが、Oーリングテストで強いマイナスの服を着たり、持っただけで、再び脳腫瘍の反応がでてくる場合があります。だから、アスベストだけでなく、着ている物も非常に腫瘍に影響を及ぼすことがあります。

脳腫瘍の場合は、テロメアが 1500ng とかインテグリン $\alpha 5 \beta 1$ が 1000ng (BDORT Unit) と、体の他の部分の腫瘍に比べて、非常に高くなります。こういう人に適量の副腎皮質ホルモン DHEA (Dehydro-epiandrosterone) 5~12.5mg を 1 回やると 1500ng もあるテロメアが 1yg (10^{-24} g) 以下になり、インテグリンも 1yg (10^{-24} g) 以下になって、Thromboxane B2(腫瘍の場合は必ず循環障害が起きて高くなっている)が増えていたのも必ず減少し 1ng 以下になります。同時に体内に蓄積していたアスベストも大部分が 3 時間以内に小便に排出される事が多い。同じ様な癌の抑制反応が他の癌でも起こり、1 回だけの DHEA の適量の効果が数ヵ月以上続く事が多い。そして、私の研究でおもしろいことがわかったのは、癌のあるところにはわずかの例外を除くと必ずアスベストが正常の細胞より 20~60 倍に増えており、普通の Malignant tumor の中心に、直径が 5mm あるいは、それより小さいコアがあって、特にそこにはアスベストの量が、同じ癌の残りの大部分のアスベストの 10~30 倍の大量のアスベストがある事が分かりました。それをなくしないと、本当に癌が治らないということです。私は、その部分から、癌が発生するのではないかと考えています。中心のコアのアスベストが高い所には、又同時に、砒素、亜鉛、クロミニウム、セレンウムこういう物質が異常に増えている事も見つけました。

癌の顕微鏡のスライドを調べても、癌の中心近くにある小さいコアの所には、アスベスト、砒素、クロミニウム、亜鉛等が、その周辺の癌組織よりは多く蓄積しています。

※ Mesothelioma と我々が知っている普通の悪性腫瘍との一番大きい違いは何か？

普通の癌の場合は、テロメアとか Integrin $\alpha 5 \beta 1$ 、Oncogene C-fos Ab2 が増えて、水銀が増え、Thromboxane B2 も増えています。そして、アセチルコリンが非常に減って 1fg 以下になるわけですが、Mesothelioma の場合は、そういうことは全く起きなくて、Integrin $\alpha 5 \beta 1$ や Oncogene C-fos Ab2 は高くなりません。アセチルコリンも 50~100 μ g に減っても 1fg 以下の様に極端に低くなりません。それで、Integrin $\alpha 5 \beta 1$ や Oncogene C-fos Ab2 で、いくらスクリーニングを行っても、ひっかからないわけです。テロメアも、普通の癌の時は、高くなるけれども、Mesothelioma では増えないというわけです。これが非常に重要なことです。Mesothelioma を見つけるには、量の大きいアスベストが反応することを調べたり、Mesothelioma の顕微鏡スライドで強い共鳴があるかどうかを調べるか胸部や腹部の PA & Lateral X-ray に特有な変化が胸壁や腹壁に出れば見つけることができます。

アスベストが多い所には、循環障害がありますが、そこに、Oーリングテスト・ネガティブのものをくっつけると、循環障害がさらにひどくなります。そこに適量の DHEA を 1 回投与するか、林原生物化学研究所から出ているシラントロ・タブレットの適量を飲むか、プラス(+) のソーラーエネルギーを蓄積した紙を当てるか、プラスのエネルギーの入った気功紙を当てるかすると、アスベストが減少し、循環障害も改善されます。ソーラーエネルギーを蓄積した紙の (+) の面を 10 秒間当てただけで、症状が改善し、その後もアスベストが 90%以上減った状態になった人も何人もいます。

Fibromyalgia で 30 年間、難治性疼痛で苦しんでいた人がいましたが、その人にも難治性疼痛のある場所には大量のアスベストが蓄積していました。適量の DHEA を 1 回投与するとテロメアが 20ng だったものが、525ng に増え、アスベストが減少し、症状が一時改善した例もありますがアスベストが充分取れていなかった場所では痛みは、またもどって来ます。

頭の禿げた人を調べると、頭の禿げた所にアスベストが非常に高い人が多い。

口に入れる人工の歯ぐきでアスベストが高いものがあります。それをお湯に入れると大量のアスベストが出てきますので、非常に危険です。

熱の手に感じにくい白いスタイロ・フォームの使い捨て用のコップでアスベストの量がどこも一様に 1mg~1.5mg (BDORT Unit) と高いものが最近、アメリカのいくつもの一流ホテルで使われていました。熱湯を注いだら、たちまち、お湯にアスベストが出てきました。飲み物の容器やグラスにも、アスベストが高い物があります。ホテルのスタイロ・フォームコップで、どこで調べても 1mg のアスベストが蓄積したものに、お湯を注いで 1 分間たってから、5cm の高さまでそのお湯をガラスのコップに入れると 0.4mg のアスベストが出てきたケースもあります。この様なコップを使っていると、知らないうちにアスベストが体内に蓄積するということが起きてしまいます。

目、鼻、顎の下、Trachea(at supra manubrium notch) に 5mg という高濃度のアスベストが蓄積している人のケースですが、循環障害があるために、舌を調べても、左右に一本ずつある舌下静脈の血管が見えなくなっていました。左右の舌下静脈が見えない時は、一般的に次の様な 5 つの可能性があります。1) 脳循環障害 (Brain Circulatory Disturbance) 2) 脳腫瘍 (Brain Tumor) 3) 白血病 (Leukemia) 4) 電磁場過敏症 (Electro-Magnetic Field Hypersensitivity) 5) 精神分裂病 (Schizophrenia)

その人は Astrocytoma もあって、正常細胞のテロメアが低く、1yg 以下のテロメアでした。その人に最適量のシラントロ (3/4 錠) を 1 回与えた所、テロメアが 520ng に増え、Astrocytoma の反応も一時消えました。ところが、この人は、電磁場過敏症があつて、ほんの少し、電気器具に近づいたりふれただけで、体調が悪くなり、集中したり考えることが出来なくなり、特徴的なのは、この患者では体の胸部より上に非常にアスベストが増えていました。アゴの下や Trachea(at supra manubrium notch)にも大量の 5mg(BDORT Units) のアスベストがありました。この電磁場過敏症の人は、腕に電流の流れていない電気のコードを 1 分間置いただけで、20 μ g と低かったアセチルコリンが 1ag (10^{-18} g) に減るし、Thromboxane B2 が 350ng と異常に増えていたのが 1000ng と極端に増えるという非常に電磁場過敏症が強い状態でした。

我々が、バイ・デジタルオーリングテストで手っ取り早く、アスベストを調べるのに、目、鼻、顎の下、Trachea(at supra manubrium notch)、ヘソの 5 カ所を non-invasively (非侵襲的) に、調べて、そこでアスベストが高いと、いろいろな病気を疑う必要があるわけです。特に顎の下と Trachea(又は食道)にアスベストが非常に高い 2~6mg BDORT Unit もあると肺や Breast あるいは食道その他の Gastro-Intestinal System の悪性腫瘍のある可能性が非常に高くなる。又、ヘソあるいはその他腹部で Asbestos が 2mg 以上の所があれば、そこに悪性腫瘍のある可能性が高い。

2001 年 9 月 11 日にワールドトレードセンターが爆破した時、煙の中にはいつているものを調べた所、一番大量にはいつていたものが、水銀でした。どす黒い煙では水銀 65mg、鉛が 10mg、アスベストが 13mg (BDORT Units)でした。他の白みがかつた煙のところでは、水銀 50mg、鉛 4mg、アスベスト 3mg、アルミニウム 10mg、銅 5mg と大量に金属が含まれていました。特に、水銀と鉛は神経中毒性があります。又、肺に沈着すると一度、肺に細菌やウイルスの感染が起きると、これらのメタルを除かない限り、抗菌剤や抗ウイルス剤の作用が抑制され、慢性の肺疾患が起こり易くなります。これらの金属やアスベストの他に有害な有機物であるダイオキシンも煙の中に大量に出ています。

正常な心臓には、アスベストが約 0.05mg (BDORT Units)ですが、心不全の心臓では 0.6mg のアスベストが含まれています。或る人の冠状動脈狭窄の Angiograph の写真で調べると、25%狭窄の所には、アスベストが 0.3mg、75%狭窄の所には 0.6mg ありました。また、心不

全で血管が詰まった所には、アスベストが 0.5mg もありました。同じ血管そのものには、0.1mg あります。大体、心臓病の血管が詰まった所では、0.6mg (BDORT Unit)が最高値です。

頭が禿げ出すと、頭部にアスベストがたまり、その頭部の心臓代表領域に相当する場所にもアスベストがたまります。

頭の禿げた人が帽子を被っていると、頭部のアスベストに相当するアスベストが帽子の内側につきます。

アスベストが本当にあるかどうかを調べるには、現在、アメリカで使われている方法の一つはトランスミッションタイプの顕微鏡（透過型電子顕微鏡）(TEM) で拡大して調べ、X-ray を結晶に当てる事で、どんなメタルとシリコンの原子がどんな比率であるかを調べる事により、アスベストの種類を決める事が出来ます。一番多いのは 1) クリソタイル (Chrysotile)と呼ばれるホワイト・アスベスト $\text{Mg}_3(\text{Si}_2\text{O}_5)(\text{OH})_4$ は Mg とシリコンが多く、次に多いのが 2) ブラウン・アスベストのアモサイト (Amosite) $\text{Fe}_7\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$ は Fe と Si が多い。3) ブルー・アスベストのクロシオドライト (Crosiodolite) $\text{Na}_2\text{Fe}_3^{2+}\text{Fe}_2^{3+}\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$ には Na とその倍以上の Fe と Si が多い。この主な 3 つのアスベストの他に 4) Anthophyllite $(\text{Mg},\text{Fe})_7\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$, 5) Tremolite $\text{Ca}_2\text{Mg}_5\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$, 6) Actinolite $\text{Ca}_2(\text{Mg},\text{Fe})_5\text{Si}_8\text{O}_{22}(\text{OH})_2$ の 3 つが時々見つかります。現在、ビルディングや水で見つかるアスベストの 90%以上は White Asbestos です。アメリカの EPA で問題視されるのは、長さが $10\mu\text{m}$ 以上の大きいものですが、我々がバイ・デジタルオーリングテストで水道から出る飲み水の中にあるアスベストを調べると $1\mu\text{m}$ 以下の小さな破片状のものが多く、人体に入りやすく、強い影響を及ぼします。それらは無視されて数えられていないので、 $10\mu\text{m}$ 以上の長い結晶がないとリポートすると全くアスベストがないと云うことになるため、多くの人は $1\mu\text{m}$ – $10\mu\text{m}$ の結晶も数えています、 $1\mu\text{m}$ 以下で特に $0.5\mu\text{m}$ 以下のものでたくさんあるゴミの様に見えるものの多くはオーリングテストではアスベストの事が多いが、それがアスベストであると云う事を知られていないため無視されています。又、TEM で水の 1 回のアスベスト検査をするのに \$150~\$300 もかかります。現在の所、バイ・デジタルオーリングテストの他に簡単に水の中のアスベスト、壁や天井の中のアスベスト、人体の中のアスベストを壊したり、切ったりしないで、又、直接さわらないで調べることでできる方法は、ありません。水道水中のアスベストは非常に小さいものが多くあるために、水道水にフィルターをつけてもフィルターを通過してしまい、フィルターが全く効かない場合が多い。一番取り除くフィルターで 20%ぐらいしか取り除きませんが、フィルターされたものは長くて大きいアスベストだけです。ホワイトアスベストの直径は $0.01\sim 0.06\mu\text{m}$ なので、短いアスベストはフィルターを通り抜けてしまいます。バイ・デジタルオーリングテストで調べると、フィルターを通す前後で、アスベストの量は変わっていない事が多い。

アメリカでは、1950 年–1980 年代に出来た建築物には、壁や天井にアスベストの入った材料を使っているものが多く、又アスベストの入ったセメントの大きな水道管がたくさん使われているため、多くの人が全く知らないで、大量のアスベストの入った水を毎日飲んで、癌、その他の難治性疾患になっている場合が多いと考えられます。特にアスベストの入ったセメントの水道管の内部の表面にヒビが入ったり、割れ目が出来ると大量のアスベストが水の中に出て来ます。アスベストの入った水を飲まなくても、同じ水で、シャワーを取ったり、フロに入ったりすると小さなアスベストは体表面特に禿げた頭や目や鼻、その他の粘膜を通して、体内に入ってきて来ます。又、天井や家の壁の中にアスベストの入ったものを使っていると、天井から電線を通すための穴やエアコンディションのための空気穴の金具などをつけるためにアスベストが大量入っている天井に穴を開けた所から比較的大量のアスベストが空気中に出て来ます。この様な天井の穴のある所のすぐ下に、毎日、長時

間いると吸った空気からアスベストが肺に入る可能性が高くなります。

※ アスベストを身体から安全に取り除く効果的な方法は？

我々の研究の結果、1 回だけの適量の DHEA を服用すると、30%~90%のアスベストを取り除くことができるようになりました。岡山の林原生物化学研究所で作られているシラントロ・タブレットの適量も、アスベストをより効果的に取り除きます。一番、効果のあるのは、(+)**Polarity** のソーラーエナジーを蓄えた紙です。

ダイエット用ドリンクなどのアスパルテームの入った飲み物を飲むと、正常細胞のテロメアが非常に減少し、癌細胞のテロメアが増え、又脳のアセチルコリンが低下し、脳の中でも特に **Short term memory** の作られる **Hippocampus** と **Autonomic Nervous System Control** の中心になっている **Pons** の機能が非常に低下し、セロトニンも減少します。アルツハイマー病の可能性を調べる時は、脳のアセチルコリンと β -Amyloid (1-42)をまず最初に調べます。脳は **Hippocampus** の β -Amyloid (1-42)が 7ng (BDORT Unit) 以上あり、アルミニウムや水銀が異常に多くて、アセチルコリンが 100 μ g 以下の時はアルツハイマー病の可能性を疑います。上顔に濃い茶色や黒いシミのたくさんある人は β -Amyloid (1-42)が高くなっている可能性が大きい。Alzheimer 病と Autism の人の脳は **Hippocampus** を調べると β -Amyloid (1-42)が 7ng 以上に増えて、アセチルコリンが 100 μ g 以下に減っているだけでなく、アスベストが異常に増えている事を見つけました。更にこれらの原因がいくつかの細菌 (アモキシシリンで効果のある細菌や *Chlamydia Trachomatis*, *Mycobacterium TB* etc.) と **Virus** (CMV, *Human Herpes Virus Type 6* etc.) と **Fungus** の混合感染である事が我々の研究の結果わかってきました。又、これらの **Infection** の主な原因もわかってきました。Autism は出産時に起きた脳の細菌と **Virus** 及び **Fungus** の **Mixed Infection** やアスベストやアルミニウム及び水銀の沈着を現代医学で見つける事が出来ない事にあると私は考えています。その理由は例えば、ニューヨークで私のコースを取っている、ある医者に孫が生まれたが、生後 2 カ月で最近、元気がないので、バイ・ディジタルオーリングテストで頭を調べると、上に述べた様な異常が見つかったので、小児科の専門医に調べてもらった所、見た所何も異常がないから心配ないと、頭の **MRI** を取っても異常がないというレポートが放射線の専門家から来ているから心配するなと云われたので、私の所に孫の赤ちゃんと **MRI** を持って来て、脳に本当に異常があるかどうかを調べて、異常があれば治療してもらいたいと云うので、調べると赤ちゃんの脳にも、正常といわれた **MRI** にも同じ細菌、**Virus** 及び **Fungus** が異常に大量に感染していることが見つかり、直ちに **Selective Drug Uptake Enhancement Method** を使い、効果的薬を適量飲ませて、薬を選択的に脳に行かせると 3 日で **Infection** がなくなり、元気になりました。**MRI** を見ても細菌、**Virus** はあっても、目で見ただけでは正常に見え、形に異常でも出ない限り、正常内という診断になるため、この赤ちゃんを治療して **Infection** をなくしていなかったら、将来、Autism になっていたと思われれます。しかし、これも将来は赤ちゃんを生後 1 カ月以内にバイ・ディジタルオーリングテストで調べる事により予防することが可能です。又 **Alzheimer's Disease** の 1 つの重要な原因はバイ・ディジタルオーリングテストのトレーニングを受けていない歯科医が口内に麻酔薬を注射する時に注射する場所を十分に消毒していないため口内にある菌や **Virus**, **Fungus** 等が感染して 1~2 カ月以内に脳に行くために起きるケースが多いと考えられます。それも又、予防することが出来ます。アルツハイマー病と Autism (自閉症) の患者でも、現在の治療法では改善に限度がありますが、我々の開発した治療法では、診断されてから 1~2 年以内の患者では驚くような改善が見られる事が多い。

最近まで、アスベストが体内に入ってから **Mesothelioma** が出来るまで 10~20 年以上かかると考えられていましたが、9.11 から 5 年を経過しましたが、救出作業に参加して 4~5 年

以内に肺の悪性中皮腫になって亡くなった人がすでに 5 人以上いると云われていますが、ほとんどの医師は、アスベストの肺への影響しか調べていません。Astrocytoma や Glioblastoma Multiforme の可能性も調べていかないと、本当に健康に過ごしているかどうか分かりません。9.11 の救出作業に参加した人の中で 2006 年の前半に Mesothelioma と診断され亡くなった中年の白人女性 1 人と黒人男性の顔の写真が新聞に出ていたのをオーリングテストして調べると 2 人とも頭に Astrocytoma の反応が強く出ている所が、各々 1 ケ所見つかっています。ニューヨーク・タイムズ紙 (2006 年 7 月 6 日付) などの報道によると、同市の Mt. Sinai 大学病院であるマウントサイナイ・メディカルセンターが 2002 年から実施した、WTC (World Trade Center) 倒壊直後やその後の跡地で救出作業や清掃作業に当たった 9442 人を対象とした調査で、約 7 割に何らかの呼吸障害があったことがわかった。

このうち非喫煙者に限ってみても呼吸に異常がみられる割合は 28% に達し、一般の人の約 2 倍だった。同センターの医師は「WTC の倒壊が健康に影響を与えていることは間違いない」と結論づけた。また、倒壊初期に作業に従事した人の方が呼吸障害のある比率が高く、作業中だけでなく、作業後も呼吸障害が残ることがわかった。

アスベストが異常に多く蓄積している時の、中皮腫や肺癌以外の他の疾患として、我々の研究の結果わかった病気を次の様にリストしました。

- ① 中皮腫と肺癌 (特に Adenocarcinoma of Lung)、Astrocytoma や Glioblastoma Multiforme を含む脳腫瘍、Breast Cancer, Colon Cancer その他の癌を含めた悪性腫瘍
- ② 心臓血管疾患 (Cardio-Vascular Diseases)
 - a) 心不全の左心室 (Left Ventricle of failing heart)
 - b) 心筋梗塞の病変組織 (Myocardial Infarct)
 - c) 脳循環障害 (Circulatory Disturbance of Brain)
 - d) 悪性腫瘍に血液を供給する動脈 (Arteries Supplying Blood to Malignant Tumor)
 - e) 動脈の閉塞した部分 (Occluded part of inner lumen of artery)
 - f) Varicose Vein (拡張蛇行静脈) や Spider Vein (クモ状静脈)
- ③ アルツハイマー病 (Alzheimer's Disease) 及び自閉症 (Autism) を含めた記憶およびモーター機能障害
- ④ 白内障 (Cataract)
- ⑤ 線維筋痛症 (Fibromyalgia) を含む難治性慢性疼痛 (Intractable Pain) と Chlamydia trachomatis あるいは Borrelia burgdorferi に感染した難治性関節痛
- ⑥ 電磁波過敏症 (Electro-Magnetic Field Hyper Sensitivity)
- ⑦ 難治性のかゆみ (Intractable Itching)
- ⑧ 閉経後の女性ののぼせ (Post Menopausal Hot Flash)
- ⑨ 禿げた頭 (Balding of Head)
- ⑩ 慢性の皮膚刺激、感染症の再発、アトピーを含めた難治性皮膚刺激 (Intractable Skin Irritation)
- ⑪ 目の下の皮膚の慢性の消え難い黒みがかかった所 (Dark pigmentation under eyes)
- ⑫ Morgellon's Disease (= Fiber Disease: 原因がわかっていなかったが大量のアスベストによる事が私の研究で初めて解明された)

又、これ等の難治性の病気がアスベストを安全に取り除く事により、改善する可能性がある事が、我々の研究の結果、わかってきました。

今までこの様な医学的に重要な現象が見つけられていなかった理由の一番大きな原因は、アスベストが水に溶解難いので、簡単に出来る化学的検査法がなかったため、血液検査で、アスベストがどれだけ血液の中にあるかをテスト出来なかった事と、現在用いられている

方法は TEM の様に \$ 0.5 Million もする、限られた研究所にしかおけない様な高価で優れた方法ですが、生きた人間の体の中にあるアスベストを組織を切り取らないで調べるには、現在ある科学的装置では不可能でした。しかし、バイ・デジタルオーリングテストによる 2 つの同一物質間の共鳴現象を応用する事により、簡単に体のいろんな所にアスベストの有無及び量も BDORT Units で比較する事が出来るため、この様な研究が可能になりました。

ここで、紹介したアスベストに関する知見の大部分は、Acupuncture & Electro-Therapeutics Research., Int. J. というニューヨーク郊外の Elmford にある Cognizant Publication Corp.(Tel: (1)(914)592-7720, Fax: (1) (914)591-8981) から出ている国際学術雑誌に記載 (Vol.31, pp.61-125, 2006) されています。

オーリングテストをよく使いこなせる医師にみてもらわないとこういったアスベストによる問題は解決できません (正しい診断と治療ができません)。

来る 11 月 4 日 (土) ~ 7 日 (火) 第 22 回国際鍼電気治療学会 (ニューヨーク) が開催されますので、奮って御参加下さい。

会場はコロンビア大学です。

発表してほしいのですが、発表しなくても、是非参加をと大村恵昭先生がおっしゃっています。

ホテルの予約の都合があるので、参加される先生は、10 月 18 日くらいまでに、参加希望とホテルに何泊する旨、大村恵昭先生まで、御連絡下さい。

発表される先生は、英文抄録を 10 月 18 日まで、e-mail 又は FAX にて、大村恵昭先生宛 (icaet@yahoo.com) または、日本バイ・デジタルオーリングテスト協会 (info@bdort.net) まで、お送りくださいますようお願いいたします。参加申込書は <http://bdort.net/pdf/22ndsymposium.pdf> から PDF ファイルをダウンロードすることからできます。

今回、ホテルは リバーサイドタワーホテル (日本語 HP <http://riversidetowerhotel.com/japan/>) を大村先生は考えてあります。80 丁目ですが、治安はいいそうです。

お食事と交通機関： 半径 8 ブロック以内には 30 軒以上ものレストランがございます。また全室に簡易キッチンを完備いたしました。タクシーは 24 時間ご利用が可能ですし、近くにはバス路線が 3 本、そして 3 ブロック先には地下鉄もございます。ラ・ガーディア空港までタクシーで 5 マイル、ケネディ空港まで 35 マイルとなります。

ご宿泊料金

シングル (一名様) ダブル (二名様) スイート

\$94.00 \$99.00 \$109 - \$139

* キャンセル料金はございません